

『黒子のバスケ』が3本の総集編となって2週間限定イベント上映!

2009年から2014年まで「週刊少年ジャンプ」にて連載され、

コミックスは累計3000万部を突破した超人気バスケットボール漫画『黒子のバスケ』。

2012年からは3期に渡ってテレビアニメ化され、ついに2016年、劇場版プロジェクトが始動する。

まずはウィンターカップの激闘の数々が3部作の総集編となり、2週間限定でイベント上映される。

そして、2017年の春には完全新作映画が公開予定だ。

迫力のバスケットシーンやキャラクターたちの熱きドラマが、再び全国に『黒子のバスケ』旋風を巻き起こす――!

黒子と火神の出会い……

“影”と“光”の挑戦が始まる!

誠凛高校バスケット部に入学した黒子テツヤと火神大我。抜群のセンスを持つ火神に対し、黒子は誰もが驚くほど影が薄い存在だった。だが、黒子は強豪・帝光中学で「キセキの世代」と呼ばれた5人の天才と共に戦う「幻の6人目」として活躍していた。打倒「キセキの世代」を目標にした火神と、火神という「光」になることを決めた黒子。二人は誠凛の新たな戦力となり、インターハイの都予選を勝ち進み、ついに王者・秀徳を打ち破る……!

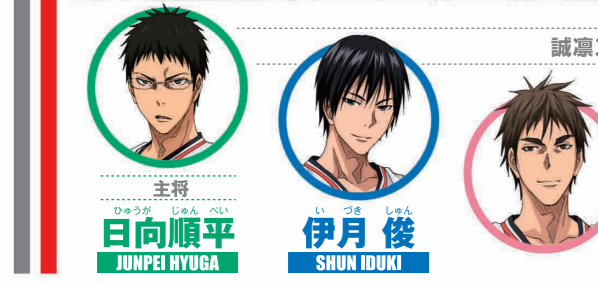


インターハイでの敗北を糧に 誠凛はウィンターカップに挑む!

都予選決勝リーグで対戦した桐皇学園のエースは、帝光中時代の黒子の相棒・青峰大輝だった。青峰の天才的なスーパープレーに翻弄され、桐皇学園にダブルスコアの圧勝を許してしまった誠凛。一度は心が折れかけた黒子と火神だが、やがてそれぞれに自らが強くなる道を模索する。そして、迎えた冬の決戦・ウィンターカップ。その都予選を順調に勝ち進んだ誠凛は、過去に因縁のある霧崎第一を下し、ついに本選出場を決める!

奇跡の新星 誠凛高校

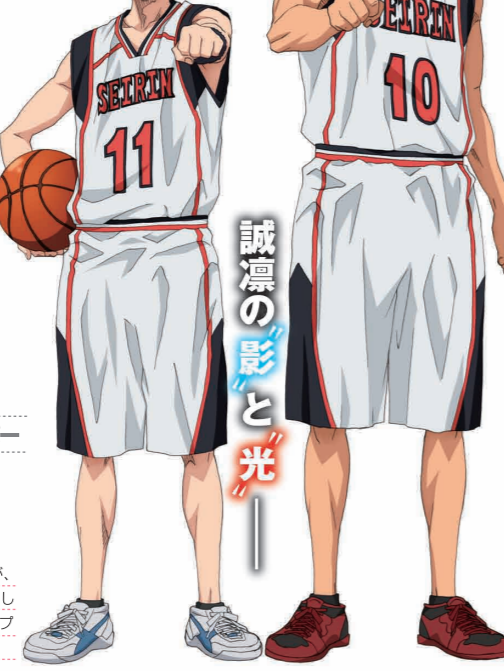
創部2年目でありながら、強豪校と対等に渡り合う強さで躍進を続ける誠凛。優れた指導力を持つ監督・相田リコが率いるチームのスタイルは完全攻撃型。メンバー同士の絆を活かした連携プレイも最大の武器だ。夏のインターハイでは残念ながら予選で敗退したが、その後、ケガで不在だった木吉鉄平が復帰。また、強化合宿で個々の能力に磨きかけたことによって、さらに実力をアップさせている。



「キセキの世代」に匹敵する天賦の才能の持ち主。驚異の跳躍力が武器。



影の薄さを活かしたパス回しを得意とし、相棒の火神やチームをサポートする。



誠凛スターティングメンバー

創部メンバーの一人だが、ヒザの負傷により休部していた。ウィンターカップから公式戦に復帰!

これが伝説となった天才たち——「キセキの世代」!!

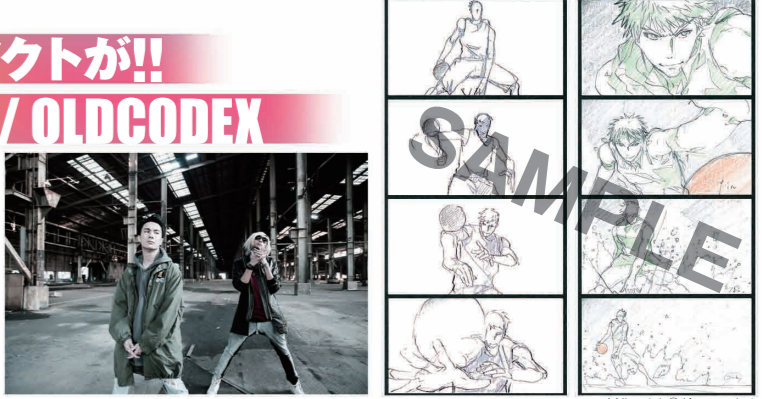
<p>新鋭の暴君</p> <p>桐皇学園高校 東京都代表。個人技に優れたプレイヤーを集めた実力主義のチーム。メンバー同士の関係性もドライ。</p>	<p>絶対防御</p> <p>陽泉高校 秋田県代表。長身プレイヤーたちを揃え、鉄壁の防御力を誇る。紫原と氷室のWエース体制。</p>	<p>開關の帝王</p> <p>洛山高校 京都府代表。ウィンターカップ連覇を続ける超強豪校。「キセキの世代」と渡り合った実力者「無冠の五将」のうち、3人がレギュラーにいる。</p>	<p>青の精鋭</p> <p>海常高校 神奈川県代表。黄瀬を絶対的エースとして擁する。全体の攻撃力、守備力が共にバランスのいいチーム。</p>	<p>不撓不屈</p> <p>秀徳高校 東京都代表。ウィンターカップの常連だが、努力を怠らない実直なチーム。インサイドの強さは東京屈指!</p>
<p>青峰大輝 DAIKI AOMINE 人並み外れた身体能力で夢幻自在のプレイスタイルを持つエース。黒子にとっては、かつての「光」。</p>	<p>紫原敦 ATSUSHI MURASAKIBARA 208cmの巨体と天性の反射神経で高い守備力を持つ。だが、バスケットに対する情熱はあまりない。</p>	<p>赤司征十郎 SEIJURO AKASHI 圧倒的な風格で勝利至上主義を興くす。帝光中でも主将を務め、黒子の才能を見出した。</p>	<p>黄瀬涼太 RYOTA KISE 一度見たプレーを自分のものにできる抜群のセンスを持つ万能プレイヤー。モデルとしても活躍。</p>	<p>緑間真太郎 SHINTARO MIDORIMA コート全体がシュート範囲の3ポイントシューター。常にその日のラッキーアイテムを持っている。</p>
<p>桃井さつき SATSUMI MOMOI 情報収集を得意とし、帝光中と桐皇学園で、バスケットマネージャーとして活躍。青峰の幼なじみ。</p>	<p>氷室辰也 TATSUYA HIMURO 火神にバスケットを教えた兄的存在。一見クールだが、内面には強い闘争心を秘めている。</p>	<p>笠松幸男 YUKIO KASAMATSU 男気あふれる主将で、仲間からの信頼も厚い。調子に乗る黄瀬をシバくのも大事な役目。</p>	<p>高尾和成 KAZUNARI TAKAO コートを見渡す広い視野「鷹の目」の持ち主。人懐っこい性格で緑間の相棒的存在。</p>	<p>「キセキの世代」とは…? 中学バスケット界の強豪・帝光中学で、最強と無敵を誇った5人の天才たち。いずれも10年に一人の逸材と言われる。だが、周囲との実力差が広がることで、彼らのバスケットへの気持ちは次第に冷めたものになっていった。</p>

個々の才能の開花によって、少しずつ距離が開いていった「キセキの世代」。3年生の夏、ある出来事をきっかけに、黒子も彼らと決別することになる。

総集編3部作には新作アクトが!!

SPECIAL TIP-OFF ACT W/ OLDCODEX

今回上映される各総集編には、オープニングを飾る新作映像が追加されている。『SPECIAL TIP-OFF ACT w/ OLDCODEX』と題したこの映像では、総集編のために書き下ろされた新曲「The Experience」と共にキャラクターたちの華麗なバスケットシーンを楽しむことができる。さらに、彼らがプレイするスタバスのコートに描かれたアートワークは、OLDCODEXのペインターであるYORKEが描き下ろしたものの、「黒子のバスケ」×OLDCODEXの完全コラボを見逃すな!



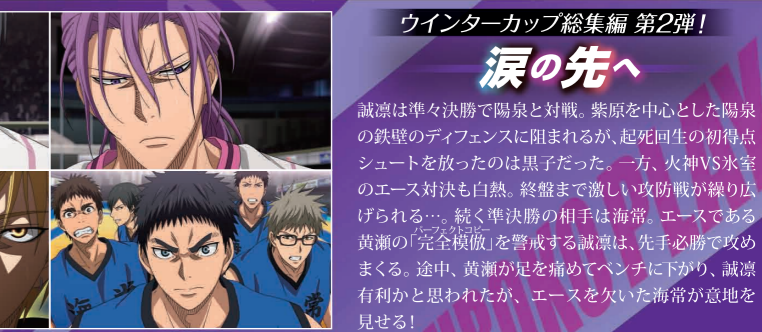
ウィンターカップ総集編 第1弾! 影と光

誠凛VS桐皇学園のウィンターカップ1回戦。誠凛はインターハイのリベンジを誓うが、青峰の天才ぶりはさらに凄みを増し、黒子の新技も破られてしまう。かつての「光」だった青峰にこれまでの努力を否定され、ベンチで悔しさをにじませる黒子。そんな相棒の思いごと青峰に挑む火神は「野生」とも言える研ぎ澄まされた強さを発揮。失いかけた闘争心を甦らせた青峰との戦いは、両者一歩も退くことなく、超次元の「ゾーン」対決に突入する!



ウィンターカップ総集編 第2弾! 涙の先へ

誠凛は準々決勝で陽泉と対戦。紫原を中心とした陽泉の鉄壁のディフェンスに阻まれるが、起死回生の初得点シュートを放ったのは黒子だった。一方、火神VS氷室のエース対決も白熱。終盤まで激しい攻防戦が繰り広げられる…。続く準決勝の相手は海常。エースである黄瀬の「完全模倣」を警戒する誠凛は、先手必勝で攻めまくる。途中、黄瀬が足を痛めてベンチに下がり、誠凛有利かと思われたが、エースを欠いた海常が意地を見せる!



ウィンターカップ総集編 第3弾! 扉の向こう

秀徳VS洛山の準決勝。相手の動きを見通す赤司の「天帝の眼」に苦しみながらも、秀徳は緑間と高尾の連携プレイで反撃し、チーム一丸となって洛山に食らいつく。だが、そんな秀徳のわずかな希望も、赤司は冷酷に打ち砕く…。決勝戦は誠凛VS洛山に決まった。火神は試合開始直後から「ゾーン」に入るが、赤司は容易く抑え込んでしまう。洛山との力の差に、何度も心が折れかける誠凛。だが、黒子は諦めることなく、強い決意で赤司と対峙する…!



CAST
黒子テツヤ:小野賢章 / 火神大我:小野友樹 / 相田リコ:斎藤千和 / 斎藤千和 / 日向順平:細谷佳正 / 木吉鉄平:浜田賢二 / 伊月俊:野島裕史
黄瀬涼太:木村良平 / 笠松幸男:保志総一朗 / 緑間真太郎:小野大輔 / 高尾和成:鈴木達央 / 青峰大輝:諏訪部順一 / 桃井さつき:折笠富美子 / 今吉翔一:中井和哉
紫原敦:鈴木健一 / 氷室辰也:谷山紀章 / 赤司征十郎:神谷浩史 / 実渕玲央:羽多野渉

STAFF
原作:藤巻忠俊(集英社「ジャンプ」コミックス刊) / 監督:多田俊介 / シリーズ構成:高木 登 / キャラクターデザイン:菊地洋子 / 音楽:池 頼広 / 音響監督:三間雅文 / 美術監督:鈴木路恵
色彩設計:佐藤真由美 / 竹田由香 / 撮影監督:荒井栄児 / CGIディレクター:磯部兼士 / 編集:植松淳一 / 主題歌:OLDCODEX / アニメーション制作:プロダクションI.G / 製作:黒子のバスケ製作委員会

鑑賞料金 1,500円均一 ※イベント上映につき前売り券の販売、各種割引サービスの適用はございません。

数量限定! 入場者プレゼント 描き下ろしイラスト オリジナルコースター (ランダム配布)

- 総集編 第1弾:全4種(黒子・火神・青峰・帝光中バスケット部)
- 総集編 第2弾:全4種(黄瀬・笠松・紫原・氷室)
- 総集編 第3弾:全4種(緑間・高尾・赤司・黛)

http://www.kurobas.com @kurobasanime

「黒子のバスケ EXTRA GAME」映画化! 2017年春公開!

©藤巻忠俊/集英社・黒子のバスケ製作委員会